
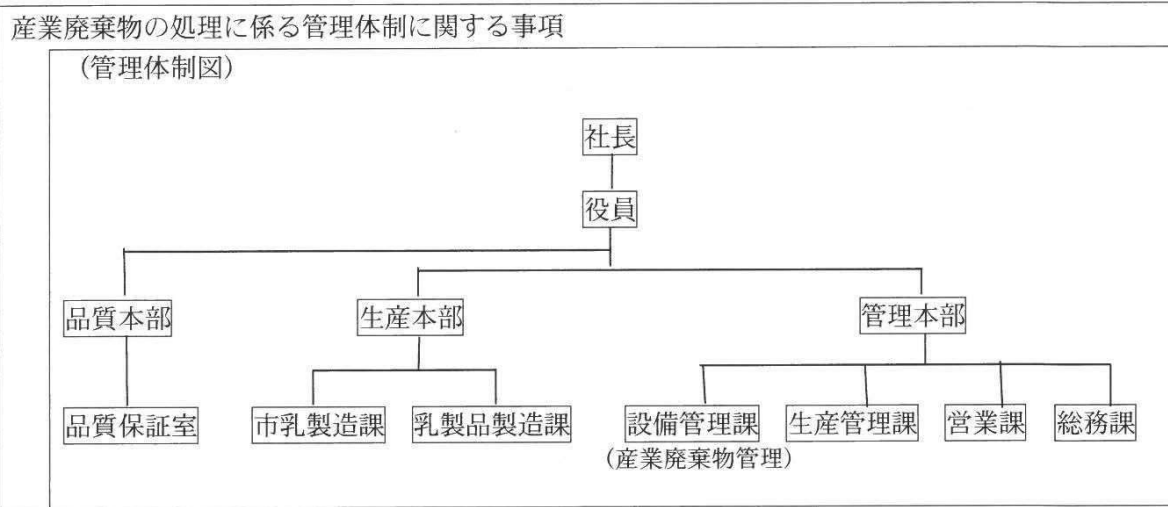


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>2023年 4月 27日</p>	
<p>都道府県知事 (市長) 埼玉県知事 殿</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>提出者 西武酪農乳業株式会社 住 所 日高市大字野々宮 氏 名 大河原 実 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 042-989-1331</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	西武酪農乳業株式会社
事業場の所在地	日高市大字野々宮145
計画期間	2023年4月1日 から 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	102億
③ 従業員数	95人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 → 焼却(委託) → セメント原料・廃プラ → 焼却(委託) → セメント原料・廃プラ → 中間処理(委託) → 燃料・動物性残渣 → 飼料処理(委託)・ガラス → 中間処理(委託) → リサイクル・蛍光管 → 中間処理(委託) → リサイクル・乾電池 → 中間処理(委託) → リサイクル・混合(廃プラ、金属) → 中間処理(委託) → リサイクル・混合(フィルター) → 中間処理(委託) → リサイクル・売却・木屑 → 中間処理(委託) → リサイクル

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥・廃プラ・動物性残渣・ガラス・蛍光管・電池・混合 ・混合（フィルター）・木屑

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
-----	---------------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t

	(これまでに実施した取組)
--	---------------

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙

【前年度（令和 4 年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃プラ	残渣	ガラスくず	蛍光管	廃乾電池	混合	混合 (フィルタ)	木屑
全処理委託量	882.07t	52.84t	25.27t	122.53t	0.16t	0.07t	0.05t	1.8t	0.5t	1.11t
優良認定処理業者への 処理委託量	882.07 t	t	25.27t	122.53t	0.16t	0.07t	0.05t	1.8t	0.5t	1.11 t
再生利用業者への 処理委託量	882.07t	52.84t	t	122.53 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理 委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 混合（フィルター）と木屑の契約をする。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃プラ	残渣	ガラスくず	蛍光管	廃乾電池	混合	混合 (フィルタ)	木屑
全処理委託量	860t	50t	20t	120t	0t	0t	0t	1.5t	0.5t	1t
優良認定処理業者への処理 委託量	860 t	t	20t	120t	t	t	t	1.5t	0.5t	1t
再生利用業者への 処理委託量	860t	50t	t	120 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 最終処分場確認を行う。										

①現状

②計画

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙

		【前年度（令和4年度）実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃プラ	残渣	ガラス・コンクリート・陶器くず	蛍光管（水銀使用製品）	廃乾電池	混合	混合（フィルター）	木屑	
①現状	排出量	882.07t	52.84t	25.27t	122.53t	0.16t	0.07t	0.05t	1.8t	0.5t	1.11t
<p>（これまでに実施した取組） 会議で月の排出量報告を行い抑制を求める。</p> <p>回数品の見直し等で、残渣が前年度対比30%、汚泥8%削減。廃プラは、紙パック粉砕機（リサイクル）が経年劣化の為、使用停止となり、10%程増となる。</p>											
		【目標】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃プラ	残渣	ガラス・コンクリート・陶器くず	蛍光管（水銀使用製品）	廃乾電池	混合	混合（フィルター）	木屑	
②計画	排出量	860t	50t	20t	120t	0t	0t	0t	1.5t	0.5t	1t
<p>（今後実施する予定の取組） 会議で月の排出量報告を行い抑制を求める。</p> <p>汚泥2%、廃プラ3%、残渣3%削減に努める。</p>											